



はるにれ

海老名市立有馬小学校 学校だより
令和元年5月8日号

校長 村松 かおり

学校教育目標 夢をもって未来を切り拓く 調和のとれた子どもを育てる

時代の節目を迎えて



4/5の始業式と4/8の入学式から1か月が過ぎ、10日間のGWの間に、平成から令和へ元号が変わりました。令和に込められた「人々が明日への希望とともにそれぞれの花を大きく咲かせる」という願いは、いずれは新しい時代を支えていく子どもたちに直結するものです。学校で学んだこと・経験したことが、社会の担い手として未来を切り拓き、それぞれの人生を幸せに生きていく力となるよう努めなければと改めて感じています。

また、昭和～平成の時代を振り返る多くの報道を見聞きするたび、社会や暮らしの急激な変化を実感しました。特に情報通信技術(ICT)の急速な発達は、小学生の世界にも多大な影響を与えています。様々な電子機器を効果的に活用していく力と共に、「情報」自体との適切な関わり方が、今後ますます問われるのではないのでしょうか。

地域の特色を「強み」に

4/25(木)に第1回学校運営協議会を開催し、今年度の学校運営方針の承認等を行いました。協議中、有馬小の児童や地域の特色として、「地域における人のつながりが強い」「上級生が下級生の面倒をよくみる」「学年を越えた関わりが多く、優しさや思いやりの気持ちが育っている」「人との距離感の近さが仲間意識の強さになる反面、緊張感の不足や礼儀に対する意識の弱さにつながっている面もあるでは」といった意見が出されました。

ちょうど連休前の学校では、児童会主催の「1年生歓迎集会」や、1・2年生合同の「学校探検」が行われました。6年生と手をつないで入場する1年生の嬉しそうな笑顔。ゲームやクイズでは、上級生の優しさや気遣いがあちこちで見られました。校長室を見学に来た2年生は、「2年1組の・・・です。学校探検で来ました。」と名乗った後、「1年生も言うんだよ」と優しく口調で促していました。



温かな地域性に支えられ、学年を越えたつながりの中で豊かな体験ができることを「強み」として生かしながら、課題となっている部分を着実に補っていかねばと思います。



5月の主な行事予定

- 5日(日) 開校記念日【1892年(明治25年)開校】
- 8日(水) 家庭訪問① 短縮日課5校時
PTA学級委員会
- 9日(木) 家庭訪問② 短縮日課5校時
ありまっ子応援団運営委員会
- 10日(金) 家庭訪問③ 短縮日課5校時
- 13日(月) 朝会 家庭訪問④ 短縮日課5校時
- 14日(火) アリマンピ ック班顔合わせ 心臓病検診
避難訓練 救助袋訓練(4年)
- 15日(水) 家庭訪問⑤ 短縮日課5校時
- 16日(木) PTA会費集金 聴力検査(1・2年)
- 17日(金) アリマンピック 2019
- 20日(月) 児童朝会 集団下校訓練5校時
- 21日(火) 1年遠足(江ノ島方面) 代表委員会
- 22日(水) 交通安全教室(1~3年) クラブ活動
- 23日(木) 聴力検査(3・5年)
- 24日(金) アリマンピック 2019 予備日
- 26日(日)~27日(月) 5年野外活動
- 28日(火) 5年振替休日
- 30日(木) 耳鼻科検診(1・4年)
- 31日(金) 内科検診(1・2・4年・ひまわり級)
集団登校終了



- ☆学校訪問相談 14日(火)・24(金)
- ☆朝の読み聞かせ 29日(水)

登下校の風景から

5月末まで集団登校期間が続きます。1年生を気にかけて、振り向きながらゆっくり進む班長さん。1年生も徐々に登校に慣れ、元気な「おはようございます!」の挨拶が返ってくるようになりました。ここでも異学年集団での関わりが、体験を通じた大切な学びになっています。

パトロールにより事故や事件を抑止してくださる自治会の皆様。1年生の下校見守りに参加して下さった民生・児童委員、学校応援団、保護者の方々。早朝から交通の要所に立哨して下さる保護者の皆様。子どもたちの安全・安心な生活のためのお力添えありがとうございます。今後もよろしくお願いいたします。

